

中部国際空港島にて、愛知県が実施する社会実装を見据えた 自動運転実証実験に「GMPS（磁気マーカシステム）^{※1}」で参画

愛知製鋼株式会社（代表取締役社長：藤岡高広）は、株式会社NTTドコモを核とする共同体の一員として、先進モビリティ株式会社、名鉄バス株式会社、日本信号株式会社とともに、愛知県が進めている「自動運転によるビジネスモデルの構築」への取り組みの一環として、10月29日（金）および11月1日（月）から11月3日（水）に常滑市の中部国際空港にて行われる自動運転実証実験に参画します。

本実証実験は、実運行において再現・持続可能なビジネスモデル構築を目指す自動運転実証実験の一環として「公道と空港制限エリアの同時運行・管理」をテーマに、空港利用者・勤務者の移動手段を想定して行うものです。別ルートを周回する2台の小型バス車両を一元的な遠隔監視のもとで同時運行するとともに、5GやAI技術などの活用で、運行の省人化と安全の両立を目指します。

当社のGMPSは自車位置を正確に推定するシステムとして採用され、自車位置検出の情報の一つとして併用するGNSS^{※2}が苦手とする、ビル等の遮蔽物が多く衛星の電波が届きにくい箇所（空港島総合物流地区）で運用します。電波環境や悪天候の影響を受けずに車両位置を推定できるGMPSは安全・安心な自動運転に貢献しており、社会実装を見据える本実証実験の重要な構成要素となっています。

【実証実験概要】

1. 期間： 2021年10月29日（金）、11月1日（月）～3日（水）
2. 走行ルート：空港内制限区域（ルートA、B、C）第1ターミナルと第2ターミナルを周回
空港島総合物流地区（ルートD）旅客ターミナルビル停留所と総合物流中央停留所を周回
3. 磁気マーカ敷設区間：空港島総合物流地区の、衛星の電波が届きにくい箇所に磁気マーカを敷設
4. 参考： 愛知県リリース (<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/jisedai/jidouten-kuko-2021.html>)

※1 車両底部に取付けた磁気センサモジュールにより、走路に沿って敷設した磁気マーカの微弱な磁力から自車位置を高精度に推定する当社が独自開発した自動運転支援システム

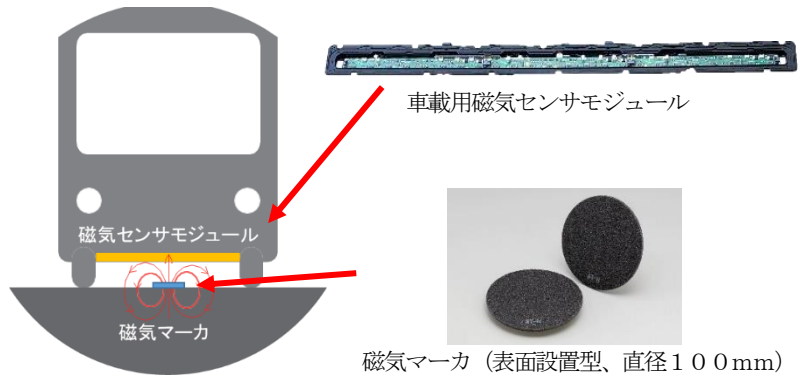
GMPS…Global Magnetic Positioning Systemの略

※2 Global Navigation Satellite Systemの略。人工衛星から発信される電波を用いて測位を行う技術。



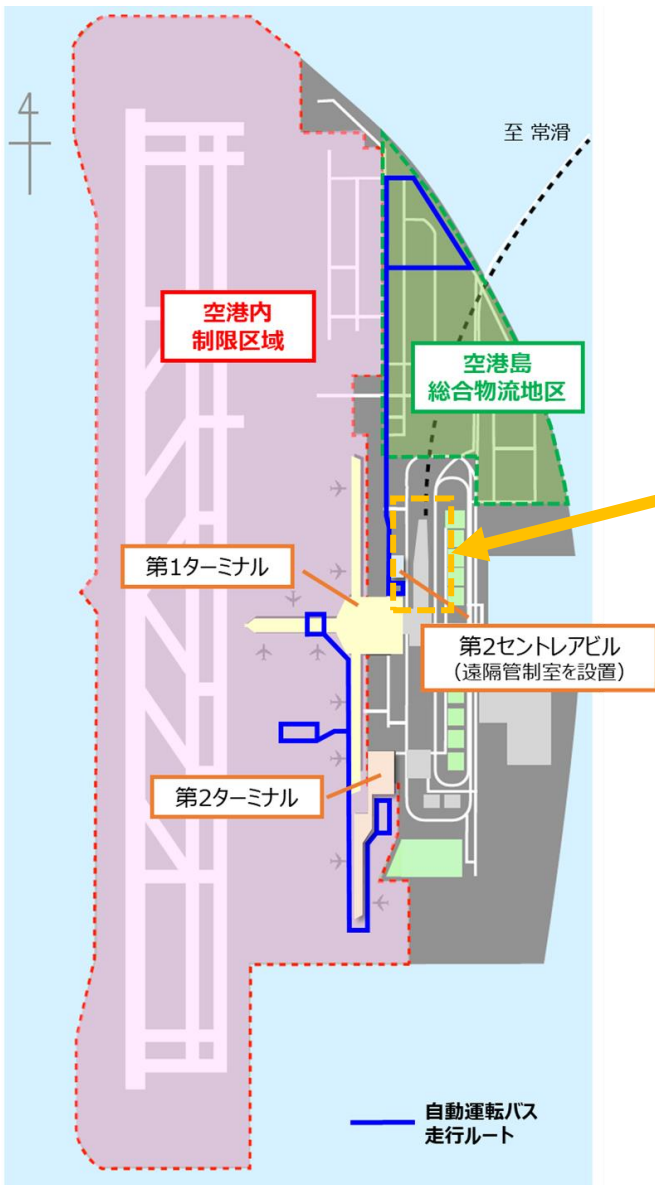


小型自動運転バス
(先進モビリティ株式会社)



GMP Sの動作イメージ

中部国際空港内 自動運転実証実験走行ルート全体図



空港島総合物流地区 当社磁気マーカ敷設箇所



※出典：国土地理院撮影の
空中写真（2010年撮影）を加工して作成